

令和5度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	演芸
----	------	----	----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	C区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	3企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしきがいしやおふいすばふおーまんすらぼ 株式会社オフィスパフォーマンスラボ		団体ウェブサイトURL	https://p-labo.jp/team/
代表者職・氏名	代表取締役 石井 秀幸			
制作団体所在地	〒 454-0869	最寄り駅(バス停)		
		愛知県名古屋市中川区荒子2丁目72		
電話番号	052-398-5551			
ふりがな 公演団体名	ちーむばふおーまんすらぼ TEAMパフォーマンスラボ		団体ウェブサイトURL	https://p-labo.jp/team/
代表者職・氏名	主宰 石井 秀幸			
公演団体所在地	〒 454-0869	最寄り駅(バス停)		
		愛知県名古屋市中川区荒子2丁目72		
制作団体 設立年月	2011年6月			
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 石井 秀幸 取締役 鴻江 未有		役員・事務局社員 5名 団体構成員 40名 加入条件 団体の審査による	
事務体制 (専任担当の有無)	専任	本事業担当者名	石井 秀幸、大高 可奈	
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	石井 秀幸	

<p>制作団体沿革</p>	<p>【TEAMパフォーマンスラボ】 https://p-labo.jp/team/</p> <p>2006年 モンゴル国立サーカス留学経験のある主宰 石井秀幸、他10名でエンターテインメント集団『TEAMパフォーマンスラボ』立ち上げ。現在約40名。 2011年 運営会社として株式会社オフィスパフォーマンスラボを設立。 2013年 名古屋市中川区に空中芸の設備を整えたスタジオ兼ミニシアターとして、『シアターパフォーマンスラボ』を設立。舞台作品の創作活動の拠点としている。</p> <p>パフォーマー、役者、音楽家を中心に、サーカス、マジックなどの芸能作品、ノンバーバル演劇作品、ケルト楽器に特化した音楽作品など舞台作品は10作品。</p> <p>2018年 『サーカスエコロジカル』が環境省グッドライフアワードで子どもと親子のエコ未来賞を受賞。 2022年 『DEAR』が厚生労働省児童福祉文化財、舞台芸術部門に選定。</p>	
<p>学校等における公演実績</p>	<p>2007年からサーカス作品で小学校公演をスタート。現在はパフォーマンスと融合させた演劇作品、音楽作品、芸能作品を小学校、高校公演も含め年間60～150校を実施しています。近年は同時に2班のツアーが可能で同日に別班が5校で公演しました。コロナ禍においても、感染症対策をした演出変更が評価されました。</p> <p>【直近5年間の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度 83校 ・2018年度 67校 ・2019年度 84校 ・2020年度 63校 (子どものための文化芸術体験創出事業 28校、通常公演 35校) ・2021年度 121校 (子供のための文化芸術鑑賞・体験支援事業 68校、通常公演 53校) <p>【今年度予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2022年度 156校+α (子供のための文化芸術鑑賞・体験再興事業 56校、巡回公演事業 10校、ユニバーサル公演事業 20校、通常公演 70校)(9月末現在) 	
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p><特別支援学校・支援教育研究会></p> <p>三重県立特別支援学校、西日野にじ学園、東濃特別支援学校、一宮東特別支援学校、三郷特別支援学校、和泉支援学校、城南特別支援学校、湘南養護学校、所沢おおぞら特別支援学校、八尾支援学校、箕面支援学校、寝屋川支援学校、日高特別支援学校、大子特別支援学校、千葉特別支援学校、友部東特別支援学校、所沢特別支援学校、和光特別支援学校、水戸特別支援学校、堺支援学校、丹波支援学校、熊谷特別支援学校、上神谷支援学校、春日部特別支援学校、一宮特別支援学校、滋賀大学教育学部附属特別支援学校、生野支援学校、あさひ特別支援学校、長浜養護学校、嶺南東特別支援学校、泉北高等支援学校、城陽支援学校、大淀養護学校、守山養護学校、深谷はばたき特別支援学校、茨木支援学校、東住吉特別支援学校、きのかわ支援学校、東大阪支援学校、二階堂養護学校、高槻支援学校、丹波支援学校、川越特別支援学校、生野特別支援学校、和泉支援学校、天白養護学校 他</p> <p>泉南地区支援教育研究会、多気郡特別支援教育研究会</p> <p><聾・盲学校></p> <p>千種聾学校、松本聾学校、中央聴覚支援学校 塙保己一学園</p>	
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>
<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://www.youtube.com/watch?v=Pikb7b-Clzw&t=1s</p>	
<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID: PW:</p>	<p></p>

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 TEAMパフォーマンスラボ 】

対象	小学生(低学年)	○	/				
	小学生(中学年)	○					
	小学生(高学年)	○					
	中学生	○					
企画名	紡ぎ						
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	公演作品名 紡ぎ 伝統芸能を楽しみながら理解し、未来へ伝えていく物語 神話の時代の物語を古典芸能の音楽とパフォーマンスで語り継ぐ総合芸術です。楽器の由来や芸能の起こりについて学びます。 脚本・演出・太神楽/大桑玲 (TEAMパフォーマンスラボ) 音楽/中安一秀 尺八/加藤奏山 三味線/杉山大祐 和太鼓/土平晃大 公演時間 約75 分						
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名				
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況				
演目概要	和太鼓、尺八、三味線に太神楽曲芸を加え、神話の時代のストーリーを交えた総合舞台です。 楽器の由来や芸能の起こりについて学ぶことができ、さらに体験を通して伝統芸能の魅力を存分に味わっていただける作品となっております。 また、作中 사용되는楽曲のほとんどが作曲家・中安一秀による本公演のためのオリジナル楽曲となっており、伝統芸能の凛とした美しさを引き立てる要因となっております。						
演目選択理由	日本の伝統芸能はなぜ美しいのでしょうか？それは「詫び・寂び」といった言葉に代表されるように、華やかな装飾をそぎ落とすことで物事の本質のみを観客に伝えているからではないでしょうか。 また装飾をそぎ落とした結果「見立て」と呼ばれる文化が発達したことも日本文化の面白い特徴の一つです。 本作品に登場する音色や仕草のひとつひとつがそれぞれ何を意味するのか、感じていただければ幸いです。 伝統芸能の堅苦しいという印象から、和の文化に興味をわき伝統を大切にしたい心が生まれることを願っております。						
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	1) 和太鼓のリズムを覚えよう！ ワークショップで覚えたリズムの手拍子で演奏者と一緒に曲に参加します。 2) 曲芸に挑戦 太神楽曲芸のうち、「皿回し」を代表の生徒数名に行ってもらいます。一列に並び手に持った棒から棒へ、回るお皿を受け渡してつないでいただきます。						
出演者	脚本・演出・太神楽/大桑玲 (TEAMパフォーマンスラボ) 尺八/加藤奏山 三味線/杉山大祐 和太鼓/土平晃大						
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者:	4	名	運搬	積載量:	1.2	t
	スタッフ:	1	名		車長:	5	m
	合計:	5	名		台数:	1	台

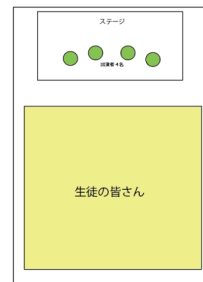
本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	10時	10～12時	13～14時20分	0	14時半～15時半	16時00分

※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	10日	15日	0日	15日	15日	
	11月	12月	1月	計	90日	
	15日	10日	10日			

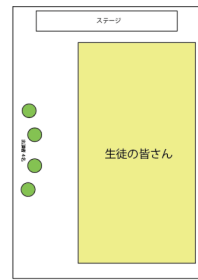
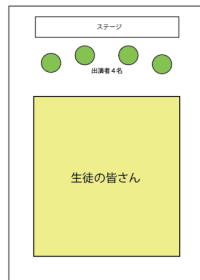
※平日の実施可能日数目安をご記載ください。

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	10人程度
		鑑賞人数目安	500人まで



【公演のイメージ】(舞台規模大の場合)

生徒さんの人数が多い場合は、後ろの生徒からも見やすいようにステージ上での演奏が基本となります。
(学校側からのご要望で、体育館を横として小規模の学校さんと同じような配置でも可能です。)



公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出や
がわかる写真)

※採択決定後、採
択団体へ図面等詳
細の提出をお願い
します。

【公演のイメージ】(舞台規模小の場合)

人数の少ない学校さんの場合は、ステージの上でなく、生徒の皆さんと同じ平土間の部分で演奏したりも可能です
出演者と生徒さんとの距離感が近くでお楽しみいただけます



【太鼓と手拍子のリズム合わせの様子】

息を合わせた手拍子を練習し、最後に一緒に演奏します。

【生徒の近くをバグパイプ演奏をしながら練り歩き】
(迫力あるサウンドを身近で感じてもらえます)

【公演団体名 TEAMパフォーマンスラボ 】

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	50人程度
<p>ワークショップ 実施形態及び内容</p>	<p>1) 和太鼓のリズムを覚えよう！30分</p> <p>生徒たち全員で手拍子を使ってリズムを合わせる練習をします。 代表の生徒数名に実際に太鼓に触れてもらい、手拍子と太鼓の掛け合いをする。 伝統的なフレーズを練習したのち、本公演で使われるリズムを全員で練習し 本公演時に一緒に参加してもらう。</p> <p>2) 伝統芸能「獅子舞」に挑戦！45分</p> <p>i.獅子舞の構造を学ぶ。獅子頭の内側をみて、実際に手に取り重さを体感してもらう。</p> <p>ii.獅子頭の振り方の基本を学ぶ。まずは獅子を持たずに振り方の種類を覚えます。</p> <p>iii.実演。獅子頭を持ち上げられる高学年の生徒さんには実際に獅子を担いでもらい動きをつけます。</p>		
<p>ワークショップの ねらい</p>	<p>本物の道具に触れる機会を作ることで、伝統文化に興味を持ってもらうことができる。 獅子をどのように動かすか考え、演じることで観察力や表現力を身に着けることができる。 全員で一緒に演奏することにより、協調性を養い、演奏ができた達成感や成功体験を作ることで 様々なことに興味を持って取り組むことが期待できる。</p>		
<p>その他ワークショップに 関する特記事項等</p>	<p>特になし</p>		

C区分で事業を実施するに当たっての工夫

【公演団体名

TEAMパフォーマンスラボ

】

i) 離島・へき地等における公演実績

あり

福知山市立中丹支援学校 等

ii) 離島やへき地等の地理的に特殊な事情がある地域で実施する上での工夫や、小規模な公演であっても公演及びワークショップの質を保つための工夫

【特殊な事情がある地域での実施にあたっての工夫】

公演は通常、和太鼓、尺八、三味線、太神楽の編成で行われるが、奏者が複数楽器を兼ねること、必要であればCD音源なども演奏中に取り入れることで、和楽器や伝統芸能の魅力を損なうことなく伝えることができる。

【質を保つための工夫】

本公演では照明の持ち込みを最小限とし、座奏と立奏を交え、様々に立ち位置を変える演出を取り入れることで、体育館の自然光の明るさの中でも見やすく演技することができる。

iii) C区分申請における、費用面の工夫

- ・舞台セットに関して、たためる幕等を利用し、舞台セットの質を担保しながら、1台の車両(ハイエース)に収めて移動することで、運搬費用を圧縮する工夫をしている。
- ・各学校の体育館にある設備を有効利用する。
- ・離島においては学校にある機材を利用し、不足する機材については郵送にて対応する。

C区分で事業を
実施するに当たっての工
夫